

1. 損益計算書 (会基本会計)			
収入の部		支出の部	
一般会費	150,000	発送費(*2)	156,515
協力会費	55,000	通信費	17,529
敬老会費	314,000	消耗品費	12,561
障害者会費	1,000	編集経費(*3)	38,860
(会費小計)	520,000	交通費	74,080
カンパ	158,300	家賃	100,000
受取利息(*1)	51	光熱費	8,828
		手数料	1,050
		諸会費(*4)	10,000
		事務用品費(*5)	102,180
		雑費	16,899
収入計	678,351	支出計	538,502
		当期損益	139,849
前期繰越	7,256,684	当期残高	7,395,533

2. 貸借対照表 (次期への繰越金)			
資産の部		負債の部	
現金	101,680	預かり金(*7)	260,700
預貯金	8,364,433	F/I基金	1,165,820
立替金(*6)	260,655	条約基金	176,715
敷金	272,000	会基本会計	7,395,533
合計	8,998,768	合計	8,998,768

注 (\*1) みずほ銀行普通預金受取利息。(\*2) 『市民の意見』141号発送費他。(\*3) 執筆者への謝礼用図書カード代¥36,860他。(\*4) 『丸木美術館』維持会費2年分(2013、2014年度)。(\*5) ノートパソコン1台¥92,800、電卓1台¥9,380。(\*6) 事務所家賃および光熱水費、電話料金など意見広告への立替金。次期会計にて(\*7) 預かり金(うち意見広告分¥258,200)と相殺いたします。  
※ なお、『市民の意見』142号の印刷費¥227,706が未払いとなりましたので、次期会計へ繰越します。

寒さの厳しかった冬を抜け、春が巡ってきました。しかし、この『市民の意見』がお手元に届く頃には、消費税はしっかりと8%になり、それに応じて物価も軒並み上昇し春を楽しむところではないかも。これを書いている時点では、増税前の駆け込み需要で大手企業の「景況感はずば抜けて最高！」だとか。賃上げも過去最高率のベア回答だと大騒ぎです。でもね、年金・生活保護生活者や零細企業(私)、非正規で働く人には全く関係のない「どこの話？」です。いえ、僅か3%といえども増税分だけは、私たちにも平等に重くのしかかっていますよ。

さて、今期会計は「黒字で！」と言いたいところなのですが『市民の意見』142号の印刷費が未払いですので、その分を経費に入れますと、残念ながら赤字となってしまう。収入面では、ポツリポツリと退会者はいらぬものの皆様のカンパによるご協力を得てまだまだ安定した状態です。支出は前期に引き続きメインとなるノートパソコン1台と使い勝手の良い電卓を買いましたので、事務用品費が増加しました。この時期のOA機器の買い替えは「駆け込み」を狙ったわけはありませんが、期せずして消費税対策となりました。(上口)

◆編集委員

阿部めぐみ、天野恵一、有馬保彦(今号担当)、杉内蘭子、高橋武智、西田和子、野澤信一(次号担当)、本野義雄、諸橋泰樹、吉川勇一、吉田和雄

▼表紙絵の作者 ▲



五十嵐 弘

(いがらし・ひろし)



1912(明治45)年2月15日、山形市二日町(現・若葉町)の小学校校長の家に生まれる。1938(昭和13)年、帝国美術学校(現・武蔵野美術大学)西洋画科を卒業。在学中に第13回国画会展に入選し、卒業後は美術教師となる。1943(昭和18)年、応召。山形32連隊雪部隊に所属し中国・牡丹江へ出征。一時帰郷するが、1945(昭和20)年、フィリピン・ルソン島で戦死。享年33。同年、妻・栄子も死去。遺児(乳児)もまもなく病没。